正平調

山中に迷った2人の女子大生がいた。彷徨1週間。上空の救助隊員が、懸命に木を揺らす2人に気づいた◆冬山で男が遭難した。ガスが煙り、視界はきかない。男は思いついてカメラのフラッシュをたく。その一瞬の閃光を機上の人は見逃さなかった。いずれも山岳事故でヘリコプターに助けられた実例を「生還」（羽根田治著）という本から引いた◆か細くともった命の明かりに目を凝らす。風をさけ、木をよけてロープを垂らし、降下する。針の穴に糸を通すような高い技術力は、日々の鍛錬と強い使命感あってこそに違いない◆そんな山岳救助の訓練中に起きた事故という。長野県の防災ヘリが墜落し、乗っていた消防隊員ら9人全員が死亡した。人命救助のプロに何があったのか。原因の究明はこれからだろう。いまはただ、冥福を祈りたい◆夕焼け空を飛んでいくヘリが、渡り鳥のように見えることがある。手紙を意味する「雁の使い」という言葉を思い出した。自らの息災を故郷に知らせるため、渡り鳥に便りを託す。そんな中国故事が由来だ。家族に無事を知らせ、命を運ぶ救助ヘリをふと連想させる◆〈雁鳴いて大粒な雨落しけり〉大須賀乙字。きのうは近隣各県の防災ヘリも救助に加わった。無残な機体を見たとき、仲間たちは空で泣いた。そんな気がする。 2017.3.7

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

氏名［　　］

① 正平調を書き写しましょう。

正平調

② タイトル（題名）を10字内で考え、みんなで話し合ってみましょう。

［　　］

NIEワークシート／中学生～高校生／国語、総合